

JBCF ロードシリーズ 宇都宮ラウンド 2020

新型コロナウイルス感染症  
拡大予防マニュアル

第2稿 令和2年7月4日

## 新型コロナウイルス感染症拡大予防マニュアル(20200626)

### はじめに

本マニュアルは、開催時における感染拡大予防のための留意点について、新型コロナウイルス感染症専門家会議の提言等を参考にしてまとめられた「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(令和2年5月14日(令和2年5月29日改訂):日本スポーツ協会)を参考に、各種対策を取りまとめたものである。

本マニュアルに従い、新型コロナウイルス感染症の拡大予防策を講じたうえで、イベント実施に取り組む。

### 1 全体的な事項

- 感染防止のために必要な事項をあらかじめ整理し、主催者(運営者)はチェックリスト化したものをすべて遵守する。レース参加者及びチームスタッフに対しては、チェックリスト化したものを JBCF ホームページ上に掲示する。
- チェックリストに記載のある事項がきちんと遵守されているか、確認するための係員を配置。会場内を定期的に巡回・確認する。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら参加当日に参加者より提出を求めた情報は、保存期間(少なくとも1月以上)を定めて保存する。
- レース開催後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討する。

### 2 募集

- JBCF レースエントリーシステムにより、当日の金銭の授受は発生しない。
- レース参加募集時には、以下の事項を参加者に向けて周知する。
  - 参加者が以下の事項に該当する場合は参加の見合わせを求める。
    - ・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
    - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- レース参加者は、レース開催24時間前までに JBCF が定める「健康状態申告書」を通じて自身の健康状態を申告する。
- レース参加者及びチームスタッフは、こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒を実施する
- チームスタッフは、レース参加時に大きな声での応援をお控えいただく。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う

□イベント終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

### 3 ライセンスコントロール及びマネージャーミーティング

JBCFが定める「大会開催ガイドライン」に基づき、以下の対策を講じる

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける
- 受付スペースはスタッフと参加者間を透明ビニールカーテンで遮蔽する
- 参加者が距離を置いて並べるよう床に目印を一定間隔(1m程度)表記する
- 受付を行うスタッフはマスク・手袋を着用する
- レース参加者及びチームスタッフから JBCF が定める「健康状態申告書」を通じて以下の情報の提出を求める
  - ・氏名(ふりがな)、年齢、住所、連絡先(電話番号)
  - ・当日の体温 ※受付時に非接触体温計で確認
  - ・イベント前2週間における以下事項の有無
  - ・平熱を超える発熱
  - ・咳、のどの痛みなど風邪の症状
  - ・だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
  - ・嗅覚や味覚の異常
  - ・体が重く感じる、疲れやすい
  - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触の有無
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

### 4 会場(大会主催者ゾーン・チームスタッフゾーン)

- 大会運営スタッフの席は1mの間隔をあけて設置。
- チームスタッフのサポートエリアはあらかじめ決められており、その場所でのみチームサポート活動を許可する ※JBCFテクニカルガイド参照
- チームスタッフのサポートエリアへの入場は、当該レースに出走している選手のチームスタッフに限定し、プロツアーチームは各5名、エリートツアーチームは各4名までとする。

## 5 無観客化の徹底

- 一般公園利用者に対して、コースサイドでの観戦に至らないように、公園内に自立型看板を設置し観戦不可であることを周知する。
- 万が一コースサイドに観戦者がいた場合の対応として、競技車両からの無線連絡を受け、直接指導に迎える体制とスタッフを配備する。

## 6 飲食

- 大会運営スタッフへの飲食物の提供は個別包装されたもの(お弁当とペットボトル)とする
- レース参加者及びスタッフは、それぞれが事前に準備した飲食物に限定する。

## 7 ごみの廃棄

- ごみは分別後、ビニール袋に入れて密閉して縛る。
- ごみの回収者は、マスクと手袋を着用し、ごみ回収終了後は必ず石鹸と流水で手を洗い手指消毒を実施する。

## 8 感染者発生時の措置

- 大会後に参加者や大会関係者から新型コロナウイルス感染症の発症の報告があった場合や、地域の生活圏に於いて感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、宇都宮市の保健所および受け入れ可能医療機関とあらかじめ検討しておく。
- 感染者が出た時点で定められた機関へ報告し必要な手段を講じる。  
また、関係機関や団体へ連絡を行う。
- 本大会が新型コロナウイルスの集団感染の場となった場合、社会に対する説明責任は大会主催者であるサイクルスポーツマネジメント株式会社と、JBCF(一般社団法人全日本実業団自転車教師連盟)が負い、対応に当たる。

## 9 その他

- 上記に記載に無い事項に関しては、JBCF が定める「新型コロナウイルスに関する大会開催ガイドライン※2020年6月25日更新」及び、JCF が定める「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて※2020年6月26日更新」に基づいて対応をとる事とする。